



新型コロナウイルス感染予防のための休校が二度三度と延長され、ついには政府の緊急事態宣言も発令され、学校だけではなく社会全体が息をひそめたような状態になってしまいました。本来4月は季節が明るく扉を開き、入学や就職そして異動で、「初めまして」「どうぞよろしく」と明るい声が交わされるころです。柔らかなピンクに彩られ、当事者でなくても節目の季節に背筋がピンと伸びるときですが、今年の春は入学式や入社式なども中止になってしまったところも多いようです。

本校では、感染予防のための臨時休業中ではありましたが、4月3日には第47回入学式がおこなわれました。在校生の参列も生徒会役員だけとなり、国歌や校歌を歌うこともなく短時間で終了しました。少しさびしい入学式でしたが、新入生を祝福するかのように、中庭の桜が満開となっているのが印象的でした。頭上に広がる桜を見あげると、可憐な花模様がすぐそばに迫り、その距離感がこちよいのです。そこには、人々が抱く春への愛着が凝縮しているように思えてならないのです。うららかな風に身をゆだね、のどかなさくら景色に身を浸すとき、これが日本の春なのだと実感するのです。



入学式では、在校生を代表して生徒会役員の方が、歓迎のことばを述べてくれました。「わからないことがあれば何でもわたしたちに聞いてください。全力でみなさんをサポートします。」と力強く述べてくれました。みなさん、1年前を思い出してください。はじめて中学生になってわからないことばかりでしたね。さあ今度はみなさんが新入生を支える立場になったのです。先輩としてしっかりサポートしてあげてほしいと思います。

だれかに何かを教えるということは、自分自身がそのことについて十分に理解していなければできないことです。学習の内容はもとより、学校の仕組みやルールについても、今一度自分自身で確認してください。そして、自信を持って正しい内容をしっかりと新入生に伝えられるようにしてほしいものです。



さて、右の写真は2年生教室の窓から撮った写真です。窓を開けると満開のさくらが青空をバックに咲き誇っていました。そして、おだやかな風が吹くと、教室のなかに花びらが舞い降りてきました。つぎの登校日にはもうすっかり散っているかもしれません。短い時間ですが、春にはこんなすてきな光景が見られるのです。